

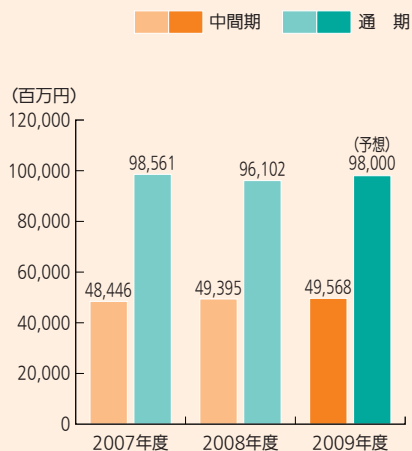
# 株主のみなさまへ



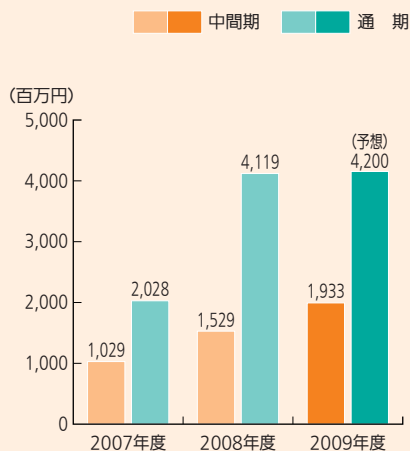
1	連結財務ハイライト
2	株主の皆様へ
5	2009年度中間期の事業別概況(連結)
7	「積水化成成品グループ100年ビジョン」の骨子
9	創立50周年記念事業のご紹介
11	トピックス
12	中間連結財務諸表
13	株式の状況
14	会社概要

# 連結財務ハイライト

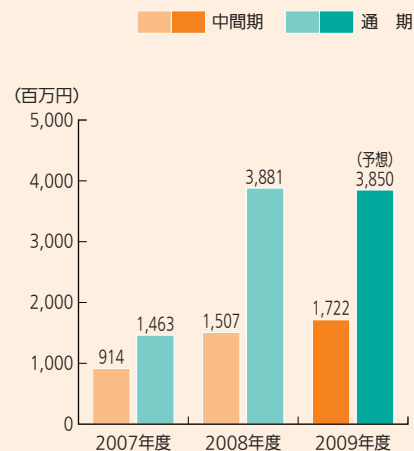
## 売上高



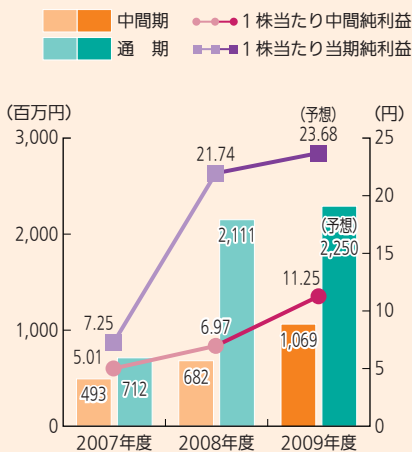
## 営業利益



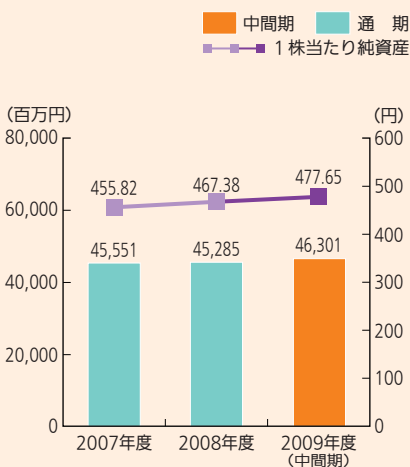
## 経常利益



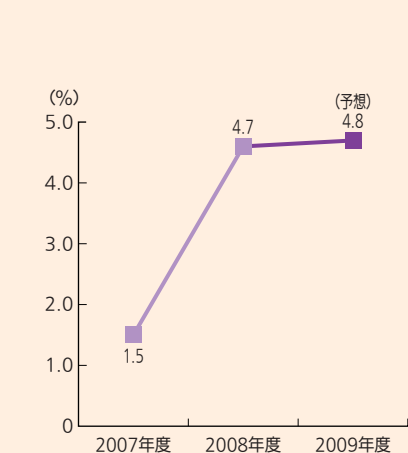
## 純利益・1株当たり純利益



## 純資産・1株当たり純資産



## ROE (自己資本当期純利益率)



## 創立50周年を迎えて

**Q** 当中間期の連結決算の概要について説明してください。

当中間期における日本経済は、世界的な景気対策の効果や、在庫調整の進展などにより景気持ち直しの動きがみられました。発泡プラスチック業界におきましては、前年度下期と比べて全般的に回復傾向にはあるものの、前年同期と比較すると需要は戻りきっていない状態にあります。

このような経営環境の中、当中間期の業績は、樹脂事業における高機能品の需要回復が進んだことに加え、シート事業の事業譲受などによる売上増効果により、連結売上高は495億6千8百万円、連結営業利益は19億3千3百万円、連結経常利益は17億2千2百万円、連結四半期純利益は10億6千9百万円と、増収増益となりました。

当中間期の配当につきましては、1株につき4円とさせていただきます。年間では1株につき8円を予定しております。なお、中間配当金の支払い開始日は12月4日となります。



代表取締役社長 **小野 恵造**

## Q 海外ネットワークの展開やM&Aの状況を教えてください。

当社グループは、2004年から中期経営計画「DASH50」を推進し、その主要テーマのひとつに「海外展開」を掲げました。この間、自動車分野やデジタル家電分野が伸張していることに伴って、同分野に「ピオセラン」が採用され、グローバルに需要が高まったことで「ピオセラン」を世界展開商材として海外展開を強力に進めてまいりました。また、海外供給拠点には、生産会社と販売会社の設立により地域および顧客に密着した供給体制とサービス提供体制を確立する方針に基づき推進し、このたびのオランダと中国・蘇州の生産工場稼働開始により、持ちうる資源を最大限に活用できる世界供給体制の整備がほぼ整いました。

一方、M&A実績では、サンポリマー株式会社（株式会社カネカ 100%出資会社）のポリスチレンペーパー（PSP）事業を今年3月31日に譲り受け、新PSP生産会社「株式会社積水化成品埼玉」として4月1日より稼働を開始し、好調に推移しております。当社PSP事業の一翼を担う重点生産工場として、今後も生産技術のさらなる向上に努め、積極展開してまいります。

## Q 環境への取り組みの状況を教えてください。

当社グループは、主力製品である省資源素材「発泡プラスチック」を通して、低炭素社会の実現に貢献していくことが経営の重要課題と考え企業活動を進めています。

廃家電樹脂や使用済み発泡スチロール緩衝材など回収原料を100%使用したリサイクルビーズを用いた成形品「エプスレムERX」が大手家電メーカーの大型液晶テレビ緩衝包装材などで引き続き売上が拡大しています。また、環境負荷の低い植物由来原料であるポリ乳酸樹脂を用い、150℃の加熱寸法安定性を有するビーズ法樹脂発泡体「バイオセルラー」は、耐熱性を活かし今後は建材や自動車部材などへの展開も期待されています。

また、今年12月10日から12日まで東京ビッグサイトで開催される日本最大級の環境展示会「エコプロダクツ2009」に初出展いたします。当社グループの環境への取り組みを積極的にPRする絶好の機会と捉え、幅広い年代の方々に「発泡プラスチック」の省資源性を知っていただける場と期待しています。



## Q 最後に株主の皆様へのメッセージをお願いします。

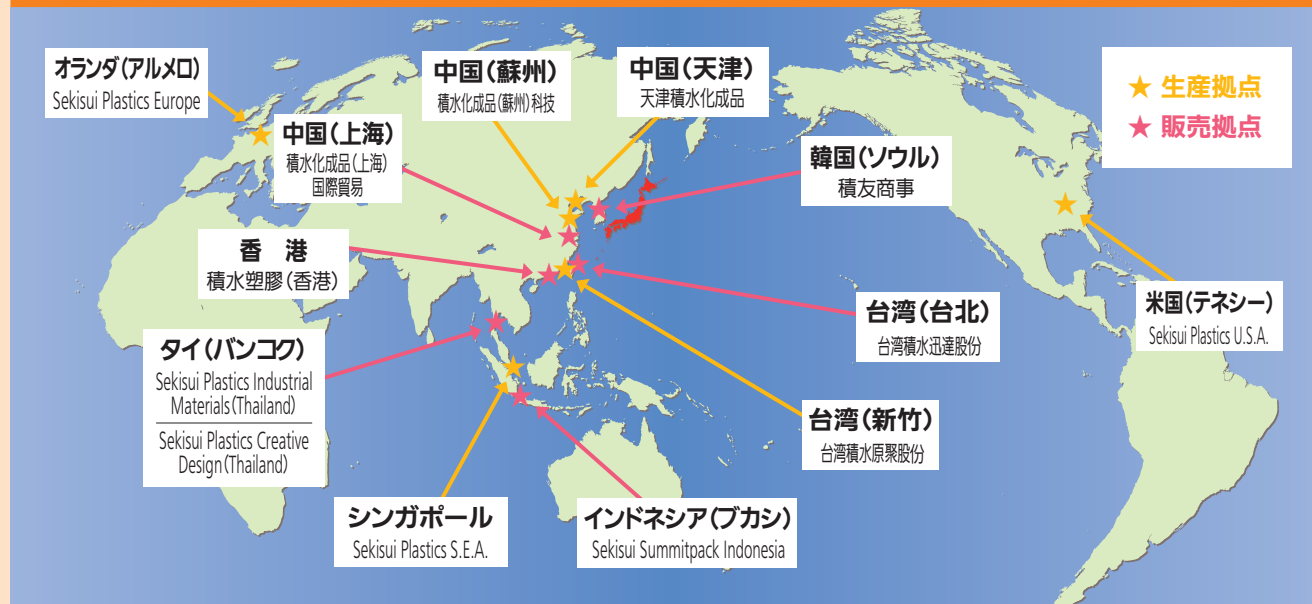
世界的な景気回復傾向はみられるものの、当社グループを取り巻く経営環境は依然として予測が極めて困難な状況となっております。このような中、原材料価格の動向を注視し、適切な対応をすることはもとより、グループ会社の収益体質をさらに強化することで、安定的な収益確保に努めてまいります。また、自動車・デジタル家電用途が主体の高機能品においては、新規採用物件の確実な取り込みなどで迅速に収益拡大につなげることができるよう、関連業界の需要動向には

臨機応変な対応に努めてまいります。

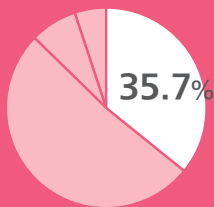
さて、おかげさまで当社は2009年10月1日に創立50周年を迎えることができました。これも株主の皆様をはじめ、関係各位の温かいご支援の賜物と心より感謝申し上げます。これを機に、後にもありますように「積水化成成品グループ100年ビジョン」を策定し、さらなる発展を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては何卒倍旧のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 積水化成成品グループ海外ネットワーク



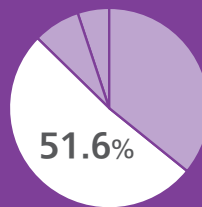
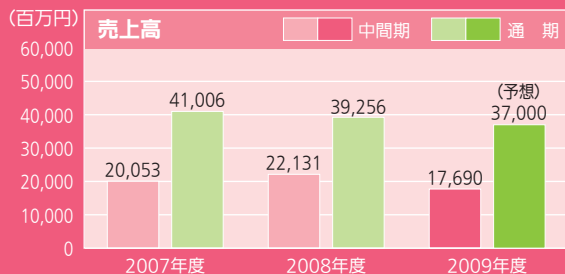
# 2009年度中間期の事業別概況(連結)



## 樹脂事業

売上高… 17,690百万円  
売上構成比 …………… 35.7%

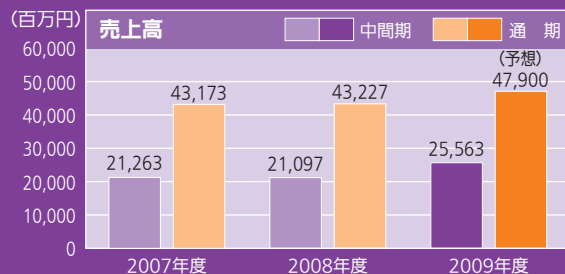
(売上構成比 : %)



## シート事業

売上高… 25,563百万円  
売上構成比 …………… 51.6%

(売上構成比 : %)

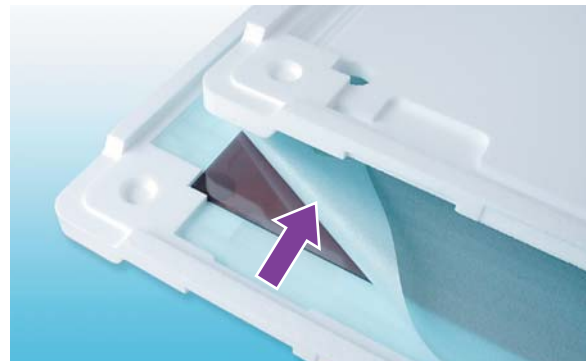


主力の「エスレンビーズ」において、関連業界の需要減退による数量減と原料価格に対応した製品価格ダウンの影響により売上は減少しました。「ピオセラン」・「テクポリマー」など高機能品においては、前年同期から売上が減少したものの、前年度下期に比べ自動車、デジタル家電など関連業界の需要は回復しました。

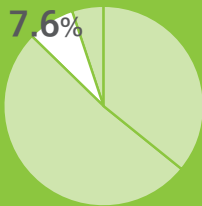


シート芯材  
(ピオセラン)

主力の「エスレンシート」は、カップめん容器向けの需要が堅調だったことに加え、事業譲受による効果などにより売上は増加しました。「ライトロン」は、一般包材向けの需要は低調だったものの、デジタル家電部材向け表面保護材の需要回復に伴う採用が増加しました。



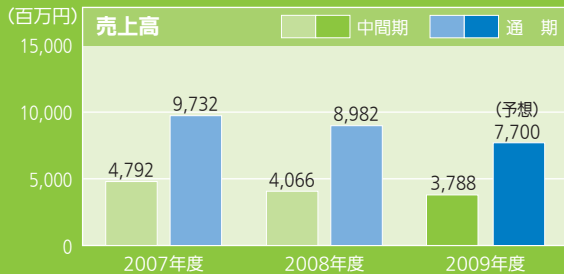
パネル表面保護材(ライトロンCE)



## 建材事業

売上高 …… 3,788百万円  
 売上構成比 …… 7.6%

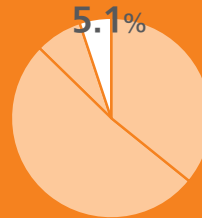
(売上構成比：%)



「エスレンフォーム」など建材分野において、住宅、ビル建設需要の落ち込みにより売上が減少したものの、合理化効果などにより収益性は改善しました。一方、土木分野においては「EPS土木工法」などが、大口工事物件が多かったため堅調に推移しました。



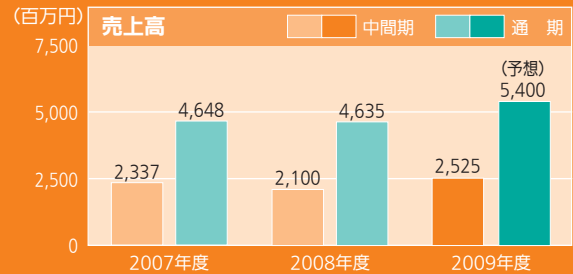
EPS土木工法 (道路拡幅盛土)



## その他事業

売上高 …… 2,525百万円  
 売上構成比 …… 5.1%

(売上構成比：%)



ファーストフード向け紙容器が顧客の新商品に採用されるなど売上が増加しました。

また、ヒーター関連商品やマスク商品などの売上も増加しました。



高機能マスク (アパミクロン)

# 「積水化成成品グループ100年ビジョン」の骨子

当社は2009年10月1日に創立50周年を迎えました。これを機に、積水化成成品がグループとして今後の50年もさらに発展していくため、「積水化成成品グループ100年ビジョン」を策定しました。

積水化成成品グループが創立100周年（50年後）を目指す姿として、積水化成成品の創業の精神や新たな経営

理念をベースに「インダストリー」「ヒューマンライフ」「環境・エネルギー」の分野でグローバルに事業展開するとともに、「CSR」「全員経営」をグループ全体に展開し、「グローバルに顧客から信頼されるプラスチック・ソリューション・カンパニー」を目指していきます。



創立 100 周年に  
目指す姿

創業の精神

働く者の幸せのために

新たな経営理念

われわれ積水化成成品グループは、人間尊重と相互信頼を基本に全員経営を実践し、  
“新しい幸せ”を目指して常にイノベーションをし続けます

創立100周年(50年後)に目指す姿

状態目標

グローバルに顧客から信頼される  
プラスチックス・ソリューション・カンパニー

規模目標

連結売上高 5,000億円以上

企業ドメイン

積水化成成品グループの  
ソリューション

素材

プラスチックスを  
基軸として

技術

付加価値創造  
技術と

システム

システム化やノウハウ・  
情報提供をもって

積水化成成品グループの貢献

産業界に貢献

顧客企業へのビジネスソリューションを提案することで、  
産業の成長・発展に貢献します

生活変革に貢献

その貢献が人々のライフスタイルの変革にもつながり

地球環境に貢献

同時に地球環境の良化も目指していきます

# 創立50周年記念事業のご紹介(主なもの)

## 記念配当の実施

2009年3月末現在の株主様に創立50周年記念配当として1株につき2円を実施させていただきました。(普通配当と合わせ期末配当金6円を2009年6月にお支払いいたしました)

## グループ経営ビジョン策定

積水化成成品グループとして今後の50年もさらに発展していくため、「積水化成成品グループ100年ビジョン」を策定いたしました。(骨子は7~8ページをご覧ください)

## 公開ホームページのリニューアル

ビジネスチャンスをさらに広げるため、2009年10月より当社公開ホームページを全面リニューアルいたしました。

ホームページアドレス

<http://www.sekisuiplastics.co.jp>

## 会社案内DVDの制作

当社グループを知っていただけるよう、会社案内DVDを制作いたしました。  
(左記の当社ホームページに公開する予定です)

## ロゴマークの制定

創立50周年と新企業ドメインを組み合わせたロゴマークを制作しました。

名刺やカタログ  
など各種ツールで  
使用いたします。



## 「エコプロダクツ2009」への出展(予定)

当社グループの環境への取り組みを積極的にPRするため、2009年12月10日から12日まで東京ビッグサイトで開催される日本最大級の環境展示会「エコプロダクツ2009」に初出展いたします。

## 記念フェスタの開催(予定)


グループ会社間の交流促進と職場活性化をはかるため、全グループ従業員とその家族を対象としたスポーツイベントを2010年5月に東西に分かれて開催する予定です。

## 50年社史の編纂

当社50年の歩みを記録に残し、また皆様に広く知っていただくため、50年社史を2009年12月に発刊予定で現在編纂を進めております。

## 記念新聞広告の掲載

一般紙（日本経済新聞、産経新聞、日刊工業新聞）及び業界紙（化学工業日報、包装タイムスなど12紙）に、10月1日号を中心に創立50周年記念新聞広告を掲載いたしました。



おかげさまで積水化成工業は創立50周年。これからも暮らしと社会を支えていきます。

次の50年への挑戦。

積水化成グループは、グローバルに顧客から信頼される「フラスチックス/ソリューションカンパニー」を目指して挑戦し続けます。

For The Next 50 Years



おかげさまで積水化成工業は創立50周年。これからも暮らしと社会を支えていきます。



人と環境を大切に、夢をふくらませる積水化成グループ

50th Anniversary  
積水化成工業株式会社

## 環境モデル事業所の整備(予定)

当社グループの環境への取り組みを積極的にPRするため、天理事業所を環境モデル事業所として整備いたします。左記「エコプロダクツ2009」での展示品を移設し、環境展示室として設置するほか、リサイクル拠点であるエプシープラザ天理の整備や、緑化運動、省エネ活動などを計画しております。

## 記念植樹の実施

創立50周年を記念し、また緑化によるCO<sub>2</sub>削減のため、全事業所とグループ会社において記念植樹を実施いたしました。



## ❖ 「中国・蘇州の『ピオセラン』生産拠点が稼働開始」

当社は、高機能樹脂「ピオセラン」の中国で2番目の生産拠点として中国・蘇州市に「積水化成品（蘇州）科技有限公司」を設立し、2009年7月より稼働を開始しました。

この拠点は、中国市場の伸びに伴い、自動車部材やデジタル家電梱包材などの華東・華南地域の生産拠点として、先行して稼働している天津積水化成品有限公司とともに、中国ビジネスの積極展開をはかっています。



積水化成品（蘇州）科技有限公司（中国）

## ❖ 「『グリーンフロント堺』内で『株式会社積水化成品堺』が稼働開始」

当社は、大阪府堺市においてシャープ株式会社为中心となっている「グリーンフロント堺」内で製造される液晶パネルの梱包材を、コンビナート内で生産・販売することを目的に、2008年6月に「株式会社積水化成品堺」を設立し、このたび稼働を開始しました。

このコンビナートの特長である省エネルギーやCO<sub>2</sub>の削減など環境負荷の低減をはかった新鋭工場として整備しており、高稼働率で順調にスタートしております。



株式会社積水化成品堺（大阪）

## 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

期別 科目	当中間期 (2009年9月30日現在)	前 期 (2009年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	41,984	40,944
現金及び預金	5,907	6,104
受取手形及び売掛金	27,011	25,106
たな卸資産	7,386	7,986
その他	1,678	1,747
固定資産	53,079	51,609
有形固定資産	41,903	40,840
無形固定資産	701	760
投資その他の資産	10,474	10,008
資産合計	95,063	92,553

期別 科目	当中間期 (2009年9月30日現在)	前 期 (2009年3月31日現在)
(負債の部)		
流動負債	34,182	33,135
支払手形及び買掛金	14,794	14,083
その他	19,388	19,051
固定負債	14,579	14,133
負債合計	48,762	47,268
(純資産の部)		
株主資本	43,325	42,869
評価・換算差額等	2,061	1,542
少数株主持分	914	872
純資産合計	46,301	45,285
負債・純資産合計	95,063	92,553

## 中間連結損益計算書

(単位：百万円)

期別 科目	当中間期 (自2009年4月1日 至2009年9月30日)	前中間期 (自2008年4月1日 至2008年9月30日)
売上高	49,568	49,395
売上原価	38,173	39,170
販売費及び一般管理費	9,461	8,695
営業利益	1,933	1,529
営業外収益	153	322
営業外費用	364	345
経常利益	1,722	1,507
特別利益	15	583
特別損失	2	474
税金等調整前中間純利益	1,735	1,615
法人税、住民税及び事業税	639	770
法人税等調整額	4	127
少数株主利益	22	35
中間純利益	1,069	682

## 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

期別 科目	当中間期 (自2009年4月1日 至2009年9月30日)	前中間期 (自2008年4月1日 至2008年9月30日)
営業活動による キャッシュ・フロー	3,005	△ 1,452
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 2,736	△ 2,433
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 710	2,074
現金及び現金同等物に 係る換算差額	69	△ 60
現金及び現金同等物の 増減額	△ 371	△ 1,871
現金及び現金同等物の 期首残高	6,018	5,523
新規連結に伴う現金及び 現金同等物の増加額	170	124
現金及び現金同等物の 中間期末残高	5,817	3,776

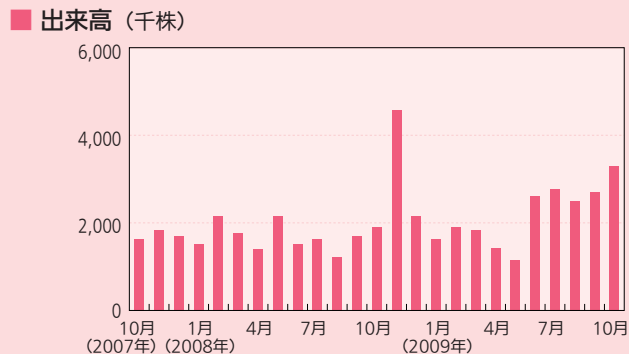
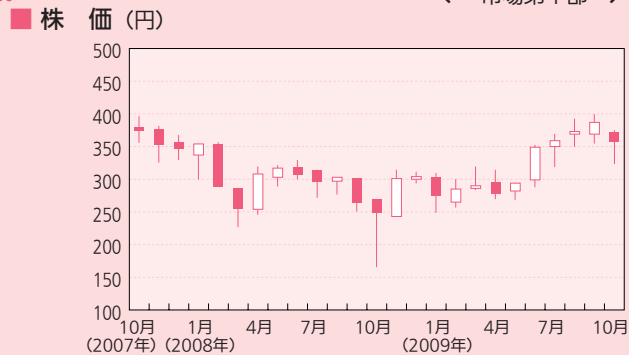
# 株式の状況 (2009年9月30日現在)

発行可能株式総数	249,502,000株
発行済株式の総数	97,976,218株
株主数	5,127名

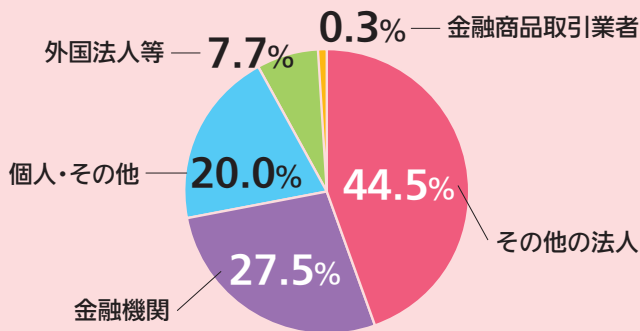
## 大株主 (上位10名)

株主名	所有株式数 千株	所有比率 %
積水化学工業株式会社	23,337	24.55
第一生命保険相互会社	6,063	6.37
大同生命保険株式会社	5,672	5.96
積水化成品従業員持株会	2,979	3.13
株式会社エフピコ	2,697	2.83
株式会社三菱東京UFJ銀行	2,655	2.79
積水樹脂株式会社	2,632	2.76
旭化成ケミカルズ株式会社	2,500	2.62
住友化学株式会社	2,500	2.62
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,320	2.44

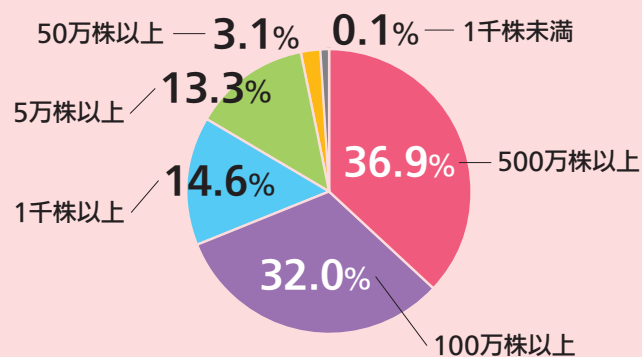
## 株価・出来高の推移 (東京証券取引所 市場第1部)



## 所有者別分布状況 (所有比率)



## 所有株数別分布状況 (所有比率)



(注) 所有比率は、自己株式(2,917千株)を控除して計算しております。

## 会社の概要 (2009年9月30日現在)

商号 積水化成成品工業株式会社  
 (英文商号) (Sekisui Plastics Co.,Ltd.)  
 本社 大阪市北区西天満二丁目4番4号  
 設立年月日 1959年10月1日  
 資本金 16,533,476,176円  
 従業員数 508名

### 営業品目 樹脂事業

エスレンビーズ、ピオセラン、テクポリマー、  
 テクノゲル、自動車関連資材、産業包装材、  
 その他樹脂関連商品

### シート事業

エスレンシート、ラミネート、エスレンウッ  
 ド、ライトロン、その他シート関連商品

### 建材事業

エスレンフォーム、エスレンネダマット、  
 ティエスサンド、エスレンボイド、エスレン  
 ブロック (EPS土木工法)、TYKフォーム、  
 その他建材関連商品

### その他事業

物流資材関連商品、パルプ容器関連商品、  
 その他商品

## 役員 (2009年9月30日現在)

### 取締役

代表取締役社長	小野 恵造
専務取締役	東 克信
常務取締役	中屋 一徳
常務取締役	深尾 茂博
常務取締役	佐野 芳秀
常務取締役	奈良 健一郎
常務取締役	辻村 博志
取締役	歳谷 耕二
取締役	資延 利夫
取締役	佐々木 正朋
取締役	柏原 正人
取締役	池 垣 徹哉

### 監査役

常勤監査役	川部 道雄
常勤監査役	佐藤 幹夫
監査役	満 生 英二
監査役	今 野 照雄

ホームページアドレス  
<http://www.sekisuiplastics.co.jp>

## 経営理念

われわれ積水化成成品グループは  
人間尊重と相互信頼を基本に全員経営を実践し  
“新しい幸せ”を目指して  
常にイノベーションをし続けます

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 毎年3月31日、期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話：0120-094-777（通話料無料）
公告の方法	電子公告 公告の内容は、当社ホームページにおいてご覧ください。 <a href="http://www.sekisuiplastics.co.jp/koukoku/">http://www.sekisuiplastics.co.jp/koukoku/</a> ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告 による公告をすることができない場合は、日本経済新聞 に掲載して行います。
上場証券取引所	東京・大阪両証券取引所市場第1部
※株主様のお問合せ先	積水化成成品工業株式会社 総務部 電話 06-6365-3014